



所在地 〒552-0014 港区八幡屋3丁目3番5号

TEL 06-6571-0013

FAX 06-6572-2482

校長名 栄西 敏記(えいにし としき)



学校の紹介・校長メッセージ

八幡屋小学校では、教育の目標は、「3つの自立を促し、確立させることである」と考え、様々な取り組みを進めています。3つの自立とは、「学習の自立」「生活の自立」「生き方の自立」です。「学習の自立」では、学習を行う上で、決して受動的ではなく、自発的に主体的に学んでいく姿勢を育てたいと考えています。「生活の自立」では、基本的な生活習慣の確立を始め、規範意識の醸成や食に対する意識の向上など、自己管理し、計画的に生活できる力を育てます。そして、「生き方の自立」では、将来の夢や希望を叶えるための力を育成し、主体的に肯定的に自己を捉え、自己実現が図れるよう取り組みを進めます。これらの目標をもとに【めざす子ども像】と【学校の教育目標】を以下のように設定しています。

めざす子ども像

しんの強い子

学校の教育目標

- ～知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな実践力のある子どもを育てる～
- ★★★様々な体験活動を通して学習意欲を高める。
- ★★★基本的な生活習慣の確立と規範意識の育成に努め、自己肯定感を育む。
- ★★★体力の保持増進を図り、健康で安全な生活習慣を身に付ける。

以上の教育目標のもと特色ある教育活動の一つとして体験学習を重視した修学旅行を行っています。本校は戦時中の昭和19年9月に3年生から6年生までの児童が香川県の観音寺へ集団疎開しました。歴史の学習で当時のことを詳しく学習しようと、修学旅行で実際に疎開先のお寺へ訪問し、児童の生活の様子を聞いたり、戦時中の機・服などを見たりしています。また、1泊2日ですが、近くの小学校との交流を深めたり、うどん作り・うちわ作り等、香川県の産業を学んだりする多くの活動をしています。

運営に関する計画

【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】

【学校の年度目標】

- 校内外で、安全な生活を送るため、約束やきまりを守ることができる児童を育てる。
- 安心して成長できる地域社会の実現につなげるため、今まで同様に開かれた学校づくりに努め、児童が地域住民と交流する機会を増やし、顔の見える関係づくりを推進する。
- 異学年交流をさらに進めるとともに、よりよい集団作りを通して一人一人の自己肯定感を高める。
- 平和や人権についてすすんで学び、実践できる児童を育てる。

【全市共通目標】

- 学力経年調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える児童の割合を85%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

【学校の年度目標】

≪学力の向上≫

- 基礎学力の向上を図る。
- 学びに対する意欲を高め、学習習慣を身に付けさせる。
- 指導力の向上を目指して、研究や研修を計画的に行う。

≪健康・体力の保持増進≫

- 進んで楽しく運動する児童を育てる。
- 給食を通じて食に関心を持ち、マナーを守って衛生的に食事をしようとする態度を育てる。
- 自己の健康に対する意識を高めるとともに、健康的な生活習慣の確立を目指す。

【全市共通目標】

- 学力経年調査における正答率が市平均の7割に満たない児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント減少させる。
- 学力経年調査における正答率が市平均を2割以上上回る児童の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント増加させる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点の向上に向けて、特に課題であるシャトルラン・長座体前屈の平均の記録を、令和元年度より2ポイント向上させる。

●令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

大阪府教育委員会では、調査対象学年が単学級の学校の校長は、調査結果等を公表しないことができるものとしており、本校では、平均正答率を含む調査結果は公表しない。

〈現状の分析〉

国語・算数ともに全国・大阪市の平均正答率を下回っている。国語では「伝統的な言語文と国語の特質に関する事項」は他の領域よりはよいが、算数ではすべて領域で全国・大阪市平均より下回っている。平均無解答率では、国語・算数ともに全国・大阪市平均程度で自分で解答する力が身に付きつつある。児童質問紙からは、全国・大阪市平均と比べると宿題以外は家で勉強する時間が少ない層が多いのが課題であるが、「将来の夢や目標をもっていますか」など良好な結果の項目もあった。

〈今後の取組〉

体験学習を通して児童に学習への意欲・関心を高めさせ、「生き方の自立」「生活の自立」を図らせる。言語力や論理的思考力の育成は、教員の授業力向上と研究授業・研修により授業改善を実施し、「自主的・対話的で深い学び」になるよう学校全体で取り組む。各種サポーターを活用しながら、学習面での課題がある児童に対するきめ細かい支援をさらに強化して「学習の自立」も図っていく。

●令和元年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果から明らかになった現状

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響等のため実施しておりません。

大阪府教育委員会では、調査対象学年が単学級の学校の校長は、調査結果等を公表しないことができるものとしており、本校では調査結果は公表しない。

〈現状の分析〉

男女とも体力合計点は全国・大阪市平均とほぼ同程度である。種目ごとに見ていくと、男女とも上体起こし・長座体前屈・50m走については全国・大阪平均と同等かそれより上回っている。立ち幅とびは男子が、女子はソフトボール投げが全国・大阪市平均を数ポイント程度上回っている。しかし、男女とも握力や反復横とび、20mシャトルランについては全国・大阪市平均を下回っている。

〈今後の取組〉

体育の授業やキッズタイム(たてわり遊び)で様々な運動や遊びを経験する機会を増やすとともに、なわとびタイムやかけ足タイム等などの強化月間により、楽しく体を動かす習慣をつけ、体力・運動能力を高めるように取り組んでいる。更に、敏捷性・持久力について継続して体育の授業等で取り組んでいくことで、その能力を身につけさせていく。また、栄養指導を始めとし、JAの協力による出前授業等、様々な食育の取組を展開して児童の体力向上に努めていく。

様々な学校行事と体験的な学習

八幡屋小学校では、体験することや経験することが児童の「学び」への興味・関心を引き出し、知的な好奇心を高揚することで「学習」への意欲が高まり、これが学力の定着や向上に密接につながるため、「体験的な学習」を重視した、様々な教育活動を進めています。



ワールドフェスタ(多文化共生学習の1つで、アジアの国々の文化や遊びを体験する活動です)



キッズマート(5年生が1日だけ商店街で花・菓子・野菜・果物を販売する体験活動です)



修学旅行(香川県のお寺で集団疎開のお話を聞いています)



防災学習(消防署・地域の方から教えてもらいます。読み聞かせの方は防災の本を読んでくれます)